

# 令和6年度事業報告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター（以下、「センター」という。）は、ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動を総合的に支援し、NPO、行政、企業、大学、自治組織等多様な主体による連携・協働によって、地域課題の解決を図り、県民の社会参画機会の拡充と持続可能な地域社会づくりに寄与することを目的に、平成26年2月に鳥取県と県下19市町村の拠出により一般財団法人として設立され、11年が経過した（平成27年4月公益法人化）。

この間、東・中・西部の3ヶ所に県振興課と共同で運営する「とっとり創生支援センター」（平成27年4月設置）を拠点に、年間200件を超える個人・団体の相談を受け、ボランティア・地域づくり団体、NPO法人等の資金調達や人材育成、組織基盤強化等の支援を行うとともに、企業や専門家等と連携した多様な支援プログラムを開発・活用し、寄り添い型の伴走支援をすすめ、NPO等の組織・事業の継続にむけた支援活動に取り組んできた。

令和6年1月にセンター設立10周年を迎え、11月に開催したとっとり県民活動活性化センター10周年記念「つながるフォーラム」において、これまでの活動を振り返ったうえで策定した「10年後を見据えた活動の『指針』と『アクションプラン（2024→2026）』」を紹介した。

現在、活動者の皆様が互いにつながりあい、成功事例を横展開することで、それぞれの活動の活性化と地域課題解決の推進を目指す「ミラ・クル・とっとり運動」を鳥取県とともに展開している。センターは、交流会の開催等を通じて、多様な主体やNPO等<sup>※1</sup>同士がつながる機会を広げ、「顔の見える関係」を「お互いを知り、ともに支えあう連携・協働のネットワーク」へと発展させる歩みに寄り添いながら、NPO等の抱える課題を総合的に解決するなどして、NPO等の活動を支援し、持続可能な社会づくりに向けた取り組みを推進していく。

※1 NPO等…NPO、ボランティア団体、地域づくり団体、公益法人、社会福祉法人、地縁組織等法人格の有無に関わらず非営利活動を行っている民間の団体、企業及びこれから新たに活動をしようとする団体

## とっとり県民活動活性化センター「アクションプラン2024→2026」

とっとり県民活動活性化センターは、ゆるやかでフラットな活動人材・活動団体のプラットフォームのもと、県民の社会への参加・参画を促し、地域の課題解決や新たな価値創造をめざす団体を応援し、NPO、住民自治組織、企業、行政、大学・学校、地域・テーマ別の協議会や中間支援組織等、多様な主体がそれぞれ持っている強みや良さが最大限に生かされ、連携・協働によって「誰一人取り残さない」持続可能な地域社会づくりに寄与していく。

### アクション1 【つながる】 ゆるやかで開かれたフラットなプラットフォームの形成

・様々な活動人材・活動団体・ネットワークがゆるやかにつながって意見交換ができる、フラットなプラットフォーム（交流ひろば）の形成を図る。

### アクション2 【ひきだす】 県民の社会参加・参画機会の創出支援

・社会課題の解決や地域の賑わいづくり、SDGs達成に向け、SNS等のツールも活かし、気軽に参加できる県民参画の機会を広げる。

### アクション3 【はぐくむ】 活動団体・地域コミュニティの組織・経営基盤の強化及び人材育成

・連携・協働プロジェクト等の中核を担う活動団体の組織基盤の強化を図り、暮らしを支える地域コミュニティの事業体の経営支援を、アウトリーチ型で行う。また、活動団体や地域コミュニティを担う地域人材の育成を図る。

### アクション4 【ひろげる】 テーマ・地域における連携・協働プロジェクトの創出

・地域・社会の課題解決や新たな価値創造に向けた多様な主体によるテーマや地域の連携・協働のネットワーク・プロジェクトの創出を促し、県・市町村とともに持続可能な地域社会づくりを推進する。

### アクション5 【ささえる】 センターの組織・事業基盤の構築と職員のスキルアップ

・新たなニーズや社会の変化に柔軟に対応でき、県民、地域社会、活動団体から信頼される組織・事業基盤を構築する。

## ＜令和6年度事業全体の成果＞

### 1. 東・中・西部の拠点で、多様なアプローチによる相談活動をすすめ、支援対象や内容が広がった。

東・中・西部の「とっとり創生支援センター」において、NPO法人、一般社団法人、地域運営組織、自治会、市町村をはじめ広く県民の方から、来所、訪問、電話、メール、オンライン等様々な方法により、年間200件を超える相談に対応した。「とっとり創生支援センター」が設置されていない町をはじめとして、事務所外での相談日を設け、団体の活動地域に近いところで対面での相談の機会を提供できた。

また、税理士、社会保険労務士、ICT支援アドバイザー等の専門家や社会人・若者ボランティア（プロボノ）の参加による個別支援、活動団体や地域のネットワーク活動に寄り添いながら行う伴走型支援など、多様なアプローチによる相談活動を行った。

### 2. 人材や資金を活動団体に循環させるしくみの活用が進んだ。

「中国ろうきんNPO寄付システム」、「あいおいニッセイ同和損保助成プログラム」、「とっとりイーパーツリユースPC寄贈プログラム」、「とりぎん青い鳥基金」及び「中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業」により、県民の地域活動への多様な参加を促し、企業をはじめ県内外の多様な主体と協働して、人材や資金を活動団体に循環させるしくみの運用を広げた。また、助成金合同説明会において、助成金活用に関する考え方やポイントなどの解説を行い、活動団体がより計画的に必要な資金を獲得できるよう支援を行った。

寄付つき商品事業「お買い物チャリティー」及び「カンパイチャリティー」は、昨年に引き続き「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」（11～12月）として集中的に取り組んだ。新商品の発売に当たり、通年での寄付つき商品の取組に参加する企業があり、多くの寄付金が集まった。

さらに、活動団体自身が組織基盤の強化を図り、資金調達や人材育成を進めるために、研修会の開催や個別支援に取り組むとともに、県と連携してふるさと納税の仕組み「ギフト」への参加を促し、オンラインツールを活用した交流機会や活動団体間のネットワークを広げた。

### 3. より現場に近い地域（市町村等）において活動団体同士の交流機会や、若者の地域づくり活動への参画機会を広げた。

市町村単位で活動団体同士が集い、NPO・地域運営組織等と行政がつながり、情報共有や意見交換を行う「地域づくり（NPO）交流会」の開催に継続して取り組んだ。新たに「ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会」において様々なテーマを設定した意見交換に取り組み、活動者がつながりあう「ミラ・クル・とっとり運動」を展開した。また、同じ課題を抱える団体を対象としたセミナーの開催に合わせて交流会を設定するなど、多様な主体やNPO等同士がつながる機会を広げた。さらに、高校生や大学生をはじめとする若い世代に対して、「社会人・若者ボランティア（とっとりプロボノ）事業」等への参加を促すとともに、大学や高校におけるワークショップ、大学の授業で「ミニプロボノ」や「グリーンベンチャー」の活動体験プログラムを展開することで、地域づくり活動に参加するきっかけづくりの機会を広げた。

### 4. 情報発信を積極的にすすめ社会的認知を広げるとともに、職員の育成強化に努めた。

県の発信媒体の活用、新聞連載記事と新聞広告、ホームページやSNSでの発信、情報誌等の発行により、多様な層への情報の発信に努めた。また、職員に対して面談（人事評価）による指導・助言、内外の研修への参加を促した。通年の研修受講により資格を取得するなど、職員のスキルアップを図った。

# 1. 法人事業

## 1. 法人業務

### (1) 評議員会、理事会の開催

○評議員、理事、監事の積極的な参加を得て、評議員会、理事会の活性化を図った。

#### ア 評議員会

日時	会議の種類	主な内容
5月13日(月)	第1回臨時評議員会(書面)	[決議] 役員(理事2名)の選任
6月25日(火)	第2回定時評議員会(書面)	[決議] 令和5年度収支決算、役員(監事1名)の選任 [報告] 令和5年度事業報告 令和6年度事業計画・収支予算、剰余金の使途

※評議員訪問 6月13日(木) 鳥取県市長会高橋事務局長 [深澤評議員代理] (毛利、小林、以下同じ)  
6月13日(木) 吉岡評議員、6月13日(木) 児嶋評議員  
6月19日(水) 宮脇評議員、6月25日(火) 平井評議員

#### イ 理事会・監査等

日時	会議の種類	主な内容
4月30日(火)	第1回臨時理事会(書面)	[決議] 理事候補者の選任、評議員会の招集
5月16日(木)	監査(センター事務所)	監事による令和5年度事業の監査
5月22日(水)	第2回定例理事会 (エキパル倉吉)	[決議] 令和5年度事業報告・収支決算、剰余金の使途、 監事候補者の選定、評議員会の招集 [報告] 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 令和5年度監査報告
10月23日(水)	第3回臨時理事会 (エキパル倉吉)	[報告] 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 令和6年度事業中間報告 第1回コンプライアンス委員会の報告 [協議] 令和7年度事業計画策定に向けて 副業について(就業規則の改定にむけて)
12月25日(水)	第4回臨時理事会(書面)	[決議] 非常勤職員就業規則の一部改正
3月18日(火)	第5回定例理事会 (倉吉交流プラザ)	[決議] 令和7年度事業計画・収支予算 諸規程等の改定等 [報告] 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 令和6年度事業中間報告及び収支見通し 第2回コンプライアンス委員会の報告

### (2) 信頼される事務局機能の構築

○センター設立10年を機に策定した、長期的な今後の活動の「指針」及び短期(3年間)の「アクションプラン(2024→2026)」を、とっとり県民活動活性化センター10周年記念「つながるフォーラム」において紹介するとともに、広く周知した。

○適切な役割分担とチームワークによって、県民に対する誠実な対応と確実な業務の遂行を図った。東・中・西部3ヶ所に勤務地が分散している中でも、統一感をもった事務局機能を果たすために、スタッフミーティングを定期的で開催するとともに、Z o o m等のオンラインによる情報共有やコミュニケーションツールとクラウド機能を情報共有、決裁及び管理業務に活用し、効率的に業務を遂行した。

○個々の職員が自己研鑽を図るとともに、日々の内部研修及び必要に応じて外部研修を行い、中間支援人材とし

での専門性（相談対応力、事務支援力、コーディネート力、企画プロデュース力、情報発信力等）を高めた。また、自己評価に基づく職員の人事評価や職員間のコミュニケーションを促進することで、モチベーションの向上を図った。

- 県協働参画課をはじめ、県各振興課（東・中・西部）、日野中山間地域連携担当、中山間・地域振興課と定期的に協議の場を持ち、情報共有及び意思疎通に努めるとともに、県庁各課及び市町村との連携を図った。
- 災害時（県内外）におけるNPO等、社会福祉協議会、行政、企業等支援組織との連携機能の強化を進めるとともに、職員が外部研修を受講し対応力を高めた。センター内部においても災害時の連絡体制や職員の役割分担や事務機能体制を整えた。
- 役職員を対象とした「コンプライアンス」等の研修や委員会を開催し、公益認定法等の法令、定款や諸規程（規則）に基づく適切な運営、事務処理を行い、社会的信頼を得られるように努めた。

## ア スタッフミーティング

- ・月1回程度開催（年：年14回）※オンラインを活用し、効率的に行った。  
[理事長+常勤+非常勤+アルバイト]  
4月8日（月）、5月7日（火）、5月27日（月）、6月4日（火）、7月8日（月）、8月6日（火）、9月10日（火）、10月8日（火）、11月11日（月）、12月9日（月）、1月7日（火）、2月10日（月）、3月4日（火）、3月21日（金）

## イ 職員面談、人事評価

- ・理事長、常務理事及び次長が、職員に対して個々に面談を行った。第1回以降は、個々に人事評価を行い、面談を行った。  
個別面談 期首面談 10名 6月19日（水）、6月24日（月）  
第1回 11名 11月26日（火）、12月9日（金）  
第2回 11名 2月19日（水）、2月26日（水）、3月17日（月）、3月18日（火）

## ウ スタッフ研修（事業に関わる県内外の情報収集及びネットワーク構築を含む）

<外部研修> 26回54日（全国の中間支援組織又は県等が行う、県内外の研修会等）

期日	場所	参加者	内容
4月20日（土） ～2月15日（土） 全25日	オンライン	池淵	ファンドレイジングスクール
5月 8日（水）	とりぎん文化会館	毛利、寺坂	鳥取県等「環大生×企業によるSDGs共創プロジェクトキックオフイベント」
7月 9日（火）	神戸市 オンライン	谷 寺坂、毛利	中間支援機能に関する研究会等「これからの中間支援を考えるシンポジウム」
7月23日（火）	県民ふれあい会館	毛利	フードバンクとっとり「フードバンク情報交換会」
7月23日（火）	オンライン	小林	NPTech 第1回イニシアティブ「ITリテラシー入門講座～ITの基礎理解とパソコン選び～」
7月26日（金）	オンライン	寺坂（運営者）	NPO支援力応援プログラム組織基盤強化サポート研修①
8月 9日（金）	オンライン	寺坂（運営者）	NPO支援力応援プログラム組織基盤強化サポート研修②
9月 6日（土）	広島市	毛利	G7サミットに日本の市民社会の声を届けるプロジェクト等「みんなの市民サミット2024」
9月 7日（土） ～ 8日（日）	京都市	寺坂（運営者）	NPO支援力応援プログラム組織基盤強化サポート研修③④

9月13日(金)	オンライン	寺坂(運営者)	NPO支援力応援プログラム組織基盤強化サポート研修⑤
9月18日(水)	オンライン	寺坂	食の災害支援活動に関わる意見交換会 in 鳥取・島根#2
9月20日(金)	オンライン	寺坂(運営者)	NPO支援力応援プログラム組織基盤強化サポート研修⑥
9月20日(金)	鳥取市	寺坂	災害支援団体連携会議・研修
10月29日(火)	岡山市	毛利	支援者支援相談員養成講座 ①確認しよう!雇用のためのキホンのキ
11月5日(火) ～6日(水)	県民ふれあい会館 しかの心他	毛利・小林・寺坂・椿・池淵・谷(運営者) 中山・野口	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム「中国5県中間支援組織役職員向け合同研修」
11月12日(火) ～13日(水)	用瀬保健センター	小林 寺坂(12日)	鳥取市災害ボランティアセンター運営者研修
11月25日(月)	岡山市	毛利、小林	支援者支援相談員養成講座 ②整えよう!支援者のためのメンタルサポート ③描いてみよう!NPOでの生き方・働き方
11月29日(金)	とりぎん文化会館	小林	鳥取県被害者支援フォーラム
12月10日(火)	さざんか会館	寺坂・谷	地域支え合いフォーラム
12月11日(水)	オンライン	小林、寺坂、世瀬	助成財団センター会計セミナー
12月16日(月)	鳥取県東部事務所	小林・寺坂・椿・池淵・谷	鳥取県東部地区地域づくり研修会
1月14日(火)	鳥取県立福祉人材研修センター	毛利・寺坂	災害ケースマネジメント研修
2月4日(火) ～5日(水)	鳥取県立福祉人材研修センター	毛利・小林・寺坂・椿(5日)	災害ボランティアセンターマネジメント研修
2月21日(金)	オンライン	谷・世瀬	NPO組織基盤強化セミナー ～〇×クイズで学ぶ法人実務～
2月22日(土)	鳥取短期大学 鳥取看護大学	小林・寺坂・椿・池淵・谷	鳥取県福祉研究学会「第18回研究発表会」
3月17日(月)	東京都(港区) オンライン	椿 寺坂、池淵、谷	参加の多様な回路をつくる「NPOのネットワーク戦略」入門ゼミ

<内部研修> 2回 2日

期日	場所	参加者	内容
7月12日(金)	センター事務所	毛利、小林、寺坂、椿、池淵、谷	「ジゲおこし勉強会」 講師：四門隆理事
3月18日(火)	倉吉交流プラザ	毛利理事長他 役職員	「コンプライアンス等研修」 講師：今度珠美 (一社)メディア教育研究室代表理事

エ 定期協議等

- ・ 県協働参画課との定期協議 年3回(3ヶ月に1回程度)

4月5日(金)、7月23日(火)、1月31日(金)

- ・県行政監察・法人指導課への報告(事業報告1回、役員変更2回、事業計画1回)
- ・顧問税理士 サンテラス税理士法人(倉吉市) 月1回協議・確認

## オ コンプライアンス関係

第1回 コンプライアンス委員会 9月17日(火) 参加:小林、寺坂、世瀬  
第2回 コンプライアンス委員会 3月6日(木) 参加:小林、寺坂、世瀬  
コンプライアンス研修 3月18日(火) 対象:役職員

## カ 職員の採用

- ・SDGs推進事業に係るアルバイト1名を4月11日(木)付けで新規採用
- ・法人業務に係る非常勤職員1名を10月1日(火)付けで新規採用
- ・民間活動型支援事業に係るアルバイト1名を9月2日(月)付けで新規採用

## キ その他

- ・新型コロナウイルス感染症に係る鳥取県知事感謝状の授与  
贈呈式及び懇親会 6月2日(日) ホテルニューオータニ鳥取(鳥取市) 参加:毛利

# 2. 公益目的事業

## 1. ミラ・クル・とっとりプラットフォーム事業

### (1) ミラ・クル・とっとりプラットフォーム事業

ONPO等の多様な主体が繋がりがあって交流できるフラットなネットワーク「ミラ・クル・とっとりプラットフォーム(以下「プラットフォーム」という。)」を立ち上げ、多くのNPO等が当該プラットフォームに参画するように団体等への働きかけや広く県民への周知を行い、多くの団体の参画を得て、「ミラ・クル・とっとり県民運動」を始動することができた。

・登録団体 1,197団体 目標500団体

### ・10周年記念事業等運営委員会

「ミラ・クル・とっとり運動」の活動の核となる「ミラ・クル・とっとりプラットフォーム」と、このネットワークから派生する交流会の企画及び10周年記念フォーラムの企画にあたり、県民の参加を促すため、様々な立場の委員から提案、意見を聴取することを目的として設置。

斬新なアイデアや参加者目線での提案を受け、より参加者の満足度を高める企画とすることができた。

#### \*ミラ・クル・とっとり運動とは

地域づくり団体等がゆるやかにつながり、それぞれの活動の活性化と地域課題解決の推進を目指す運動(鳥取の未来が来る(ミラ・クル)ための運動)。

区分	内容
運営委員	長曾我部まどか、佐藤淳子、酒本勇太、津村雄一、林原香里、洋谷友子
運営委員会開催	6月14日(金)、8月22日(木)、12月10日(火)
交流会協力	第1回~第7回、大交流会

### ・交流会

毎月1回交流会を開催し、延215名の参加があった。テーマに合わせた情報提供、課題や困りごと、解決

策やアイデアなどの共有を通して、普段の活動では出会えない人たちとつながり、団体の活動への意欲を引き出す機会を創ることができた。

目標オンライン交流会8回、大交流会1回に対し、オンライン交流会5回、ハイブリッド交流会1回、対面交流会2回、大交流会1回開催

区分	内容	日時	場所	参加人数
第1回	ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会	7月14日(日) 14:00～16:55	県立美術館 オンライン	32名 5名
第2回	こどもまんなか ～居場所づくりの実践から考える～	8月19日(月) 14:00～16:00	オンライン	15名
第3回	企業もみんなもいまできるアクションって？ ～住み続けたい地域を私たちの手で～	9月11日(水) 14:00～16:00	オンライン	15名
第4回	絆のチカラで地域は変わる ～住民同士の「絆」の可能性を探る～	10月28日(月) 14:00～16:00	オンライン	15名
大交流会	巻き起こせ！ミラ・クルの風 ～ととりのミライをツクルつながりの場～	11月4日(月) 14:30～16:15	とりぎん文化会館	58名 38団体
第5回	寄付でつながる未来 ～キフカッション in とっとり～	12月5日(木) 19:00～20:45	オンライン	11名
第6回	「災害」と向き合うということ ～過去から学び、未来に活かす～	1月17日(金) 13:30～16:00	とりぎん文化会館	24名
第7回	大学の先生に聞く！『若者』×『地域づくり』 ～若者を地域に巻き込むコツ～	2月18日(火) 14:00～16:00	オンライン	21名
第8回	～支え合いによる地域づくり～ 共助による地域の移動をみんなで考える	3月13日(木) 14:00～16:00	米子コンベンションセンター	19名

#### ・交流ページ 8月30日開設 Facebook

プラットフォームに参画したメンバー同士が、活動紹介や課題の共有、意見交換及び活動への協力依頼などを通じつながりあうことを目的に、Facebook のグループ機能を活用して情報交換などのできるページを開設した。電子媒体での広報、チラシの発送(約450か所)や配架、交流会やその他センター事業の機会をとらえて広報を実施したものの、申込者は23名であった。

申込者数 23名

#### ・プラットフォームの広報

広報手段	内容
日本海新聞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞広告 全10段(10月12日(土)掲載)</li> <li>・新聞連載 活動団体紹介記事(日付は掲載日)7回               <ul style="list-style-type: none"> <li>①洋谷友子さん(美保テクノス株式会社)(10月17日(木))</li> <li>②倉吉市社会福祉協議会(10月24日(木))</li> <li>③一般社団法人みんなの実家(11月6日(水))</li> <li>④株式会社とっとりずむ(11月23日(土))</li> <li>⑤とっとり震災支援連絡協議会(1月7日(火))</li> <li>⑥長曾我部まどかさん(鳥取大学)(2月6日(木))</li> </ul> </li> </ul>

	<p>⑦永江ささえ愛カーシェアクラブ（3月25日（火））</p> <p>・交流会イベント告知 7月10日（水）、11月29日（金）、1月10日（金）、2月16日（日）</p>
電子媒体	<p>・センターHP 対象：サイト閲覧者 内容：ミラ・クル・とっとりプラットフォーム登録案内1回、ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会案内9回、ミラ・クル・とっとりプラットフォーム大交流会案内1回、ミラ・クル・とっとりプラットフォームマップ案内1回</p> <p>・センターFB 対象：FB登録者および閲覧者 内容：ミラ・クル・とっとり運動サイトへの登録案内1回、ミラ・クル・とっとりプラットフォームFB交流ページ開設案内1回、ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会案内46回、ミラ・クル・とっとりプラットフォーム大交流会案内2回</p> <p>・メール 対象：ミラ・クル・とっとりプラットフォーム登録者、SDGsパートナー登録者、SDGsプラットフォーム登録者 内容：ミラ・クル・とっとりプラットフォームFB交流ページ開設案内1回、ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会案内10回、ミラ・クル・とっとりプラットフォーム大交流会案内1回</p>
チラシ等	<p>・ミラ・クル・とっとりプラットフォーム登録案内 登録意向確認通知作成、発送2回</p> <p>・ミラ・クル・とっとりプラットフォームFB交流ページ開設案内 登録者募集チラシ作成、発送1回、配架、センター事業での配布</p> <p>・ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会案内 チラシ作成、発送9回、配架、センター事業での配布</p>
グッズ	<p>・ミラクルロゴを用いた缶バッジ制作</p> <p>・ミラ・クル・プラットフォーム大交流会での配布</p>
マップ	<p>・東部・中部・西部のエリアマップ ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会（対面開催）参加団体の拠点をシールで表示 他の団体向けに応援コメントをマップに貼付</p> <p>・デジタルマップ（センターHP掲載） エリアマップをもとにミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会（対面開催）参加団体の分布図作成</p>

## 2. 誰一人取り残さない県民参画社会づくり・地域コミュニティ支援事業

### (1) 相談支援事業

#### ①とっとり創生支援センター事業

○県東・中・西部に「とっとり創生支援センター（以下「創生支援センター」という。）」を設置して県民やNPO等からの県民活動に関する幅広い相談に対応するとともに、必要に応じて出張による相談対応を行った。

- ・設置場所 東部とっとり創生支援センター 県地域社会振興部東部地域振興事務所内
- 西部とっとり創生支援センター 県西部総合事務所県民福祉局西部振興課内
- 中部とっとり創生支援センター （公財）とっとり県民活動活性化センター内

・相談件数 210件

<地域別>

区分	東部	中部	西部	隣接県	その他県外
件数	88件	61件	54件	2件	5件
※昨年度	※112件	※71件	※81件	※7件	※8件

(他、SDGsに関する相談)

区分	東部	中部	西部	県外
件数	2件	0件	2件	2件

<分野別>

区分	①まちづくり	②障がい者支援	③学術・芸術・文化・スポーツ	④子育て支援
件数	81件	24件	18件	17件
区分	⑤子どもの健全育成	⑥高齢者支援	⑦社会教育	⑧保険・医療
件数	15件	13件	12件	10件
区分	⑧中山間地域支援	⑩国際協力	⑪農業・漁業・林業	⑪人権・平和
件数	10件	8件	7件	7件
区分	⑬災害救援	⑬SDGs	⑮経済活動・産業振興	その他
件数	6件	6件	5件	40件

<内容別>

区分	① 組織運営	② 情報収集	③ 助成金情報	④ 団体・プロジェクト立ち上げ
件数	36件	33件	31件	27件
区分	⑤ 資金調達	⑥ 法人設立	⑦ 行政との協働	その他
件数	18件	17件	16件	79件

②出前相談会の開催 目標 東・中・西部各1回に対し、8回開催

○創生支援センターが設置されていない市町村（鳥取市は旧郡部も対象）に出向いて、出前相談会（相談の受付及び対応業務）を実施するとともに、セミナー等に合わせて相談会を実施した。今年度は、初めて八頭町と琴浦町で開催し、特に琴浦町では、町内の交流会と合わせて開催したことにより、主催団体も個別に相談会のチラシを作成し、声かけを行うなど、団体との協力関係が築けたことで4件の相談につながった。

・相談件数 延べ15件

区分	会場	期日	相談件数
鳥取市	県民ふれあい会館	7月26日(金)	0件
	県庁講堂	2月26日(水)	2件
八頭町	鳥取県八頭庁舎	1月30日(木)	1件
倉吉市	上井コミュニティセンター	10月18日(金)	2件
	倉吉体育文化会館	2月27日(木)	2件
琴浦町	ヘイジースターカフェ&レコーズ	11月27日(水)	4件
米子市	西部総合事務所	2月25日(火)	1件
境港市	境港市民活動センター	12月13日(金)	3件

③伴走型支援の実施 目標10団体に対して、実施15団体（東部4、中部6、西部5）

○地域の課題解決又は組織基盤強化に向けた伴走支援を、センターが行う支援メニューの活用や外部の方々との連携等を通じて行った。伴走支援を行う中で、専門家派遣、地域づくり活動改善支援補助金を効果的に活用し、団体の活動を支援できた。

主な支援内容：組織基盤強化、資金調達、情報発信等

区分	支援団体名	
東部	4	とっとり震災支援連絡協議会（鳥取市）、るりゆーる（鳥取市）、多言語国際交流サポートTIA（鳥取市）、NPO法人MCW経営サポートセンター（鳥取市）
中部	6	一般社団法人桜鴨文華祭（倉吉市）、コトウラ3区（琴浦町）、NPO法人倉北ユナイテッド（倉吉市）、自然がっこう旅をする木（倉吉市）、鳥の巣（琴浦町）、Runbike湯梨浜（湯梨浜町）
西部	5	NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（米子市）、NPO法人YSSだいせん（大山町）、（労協）かけはし（米子市）、こども食堂ネバーランド（米子市）、認定NPO法人本の学校（米子市）

④合同会議の開催 月1回程度 年12回実施

○相談内容や意見等を共有し、活動の発展や支援等に活かすため、県関係部署と連携して合同会議を開催した。

(2) 持続可能な地域づくり促進事業

○NPO等同士がお互いを知り、NPOや地域運営組織等と行政、地域の支援機関等が情報共有や意見交換を通して、ともに支え合う連携・協働のネットワークの形成及び地域課題解決に取り組む支援体制構築のきっかけづくりとするため、NPO等とのネットワーク会議等を開催した。

○これまで関係を構築してきた行政や地域の支援機関に新たな連携先が加わったことにより、ネットワーク会議を継続して開催できる地域ができ、団体同士のつながりの創出に加えて、センターとしても新しい団体等と出会ったことで、新規の支援に繋がった。

① 地域づくり活動のサポート 目標各地区1回以上、合計6回に対し、6回開催

区分	関係市町	開催日・会場	内容等
東部	鳥取市	5月18日（土） さざんか会館	令和5年度鳥取市市民まちづくり提案事業報告会&助成金について学ぼう
	鳥取市	3月7日（金） 鹿野トレーニングセンター	鹿野で小規模多機能自治を考える交流会
中部	倉吉市	3月8日（土） 倉吉市社会福祉協議会	ボランティアカフェ
	倉吉市	3月23日（日） エキパル倉吉多目的ホール	助成金活用について学ぶ交流会
西部	境港市	6月18日（火） 境港市民活動センター	みな〜とカフェ 展示空間の作り方講座
	境港市	7月27日（土） 境港市民活動センター	市民活動のための楽しい情報発信講座

② 持続可能な地域づくり促進

○自治会や地域づくり団体等が開催する出前講座や研修会等に対する計画立案のアドバイスや講師としての出講、実行委員会や審査会への参画など、センター職員が幅広く地域づくりの支援活動に携わった。

- ・自治会や地域づくり団体等が開催する出前講座や研修会等に対する計画立案のアドバイスや講師としての出講

琴浦町安田地区公民館、琴浦まちづくりネットワーク、鳥取市湖南地区、鳥取市米里地区、倉吉市上小鴨地区、三朝町地域協議会、三朝町三徳地区協議会、倉吉市関金地区振興協議会

- ・県、市町村との連携

鳥取市（協働推進課）、県東部中山間地域振興チーム、県中部中山間地域振興チーム、三朝町（企画健康課）、湯梨浜町（まちづくり企画課）、琴浦町（企画政策課）、県中部中山間地域振興チーム、南部町、大山町、日南町

- ・共助交通交流会

「第4回ソトバタ交流会」 3月13日（木） 14:00～16:00 米子コンベンションセンター

＊第8回ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会と同時開催

- ・社会福祉協議会との連携

鳥取県社会福祉協議会…各種委員会、理事会への参加

「災害ボランティア活動関係機関連絡会」の構成員として参加

市町村社会福祉協議会（鳥取市、倉吉市、境港市）…情報共有、個別協議

- ・高校、大学等との連携 高校・大学への訪問 10回（高校9、大学等1）

訪問：[5月13日] 米子東高等学校、米子高等学校、米子北高等学校 [5月14日] 鳥取短期大学・看護大学、倉吉北高等学校、倉吉総合産業高等学校 [5月15日] 鳥取城北高等学校、鳥取西高等学校、青翔開智高等学校、八頭高等学校

- ・次世代の地域リーダー育成支援(日南町からの委託事業)

区分	日時	場所	内容	参加者
第1回	7月31日（水）13:15～17:00	日南町役場	地域人材育成研修講師	15名
第2回	1月21日（火）13:00～17:00	日南町役場	地域人材育成研修ワークショップのファシリテーター	16名
第3回	1月28日（火）10:00～17:00	鳥取県庁	視察研修、意見交換コーディネーター	8名

- ・三朝町地域協議会連絡会の支援（三朝町からの委託事業）

集落实態調査の住民向け報告会及び説明会での講師

第1回 1月25日（土）みささ村地区

第2回 1月25日（土）小鹿地区

第3回 2月23日（日）竹田地区

第4回 3月9日（日）三徳地区

第5回 3月9日（日）賀茂地区

第6回 3月21日（金）高勢地区

### (3) 若者の地域づくり活動促進事業

○高校生や大学生等の若者をはじめ、県内外の多くの人に県内の地域づくり活動へ興味をもってもらおうきっかけづくりを行った。

○大学等の協力を得ながら、若者向け地域課題解決ワークショップ（出前講座）を開催した。

○鳥取環境大学が新たに開設した「鳥取グリーンベンチャー」に参画し、学生がセンターや団体の活動に現場で

学び、考え、実践する機会を提供し、NPO活動への理解を深めることができた。

- 本事業が学生側の学びとしてだけでなく、受入れ団体側からも「大学や学生との接点づくりに繋がった」、「ボランティア等の受け入れ体制の構築に向けてのイメージが出来た」といった声が聞かれた。

**若者向け地域課題ワークショップ（出前講座）** 目標2回に対し、5回実施

学校名・(授業名)	期間・受講者	内容
鳥取環境大学 (鳥取グリーンベンチャー)	4月～7月 受講者：3名	代表教員：磯野 誠 講義と県内NPOへの取材と原稿作成。作成した原稿についてはセンターWebサイトに支援事例として掲載予定。 取材先：とっとり震災支援連絡協議会 NPO法人琴浦立子谷ふるさとプロジェクト NPO法人西部ろうあ仲間サロン会
鳥取大学 (コミュニティ創造支援論)	5月2日(木) 受講者：23名	講義とプロボノ・ミニプロボノの紹介 代表教員：菰田レエ也
鳥取環境大学 (特別演習B)	8月～9月 受講者：10名	NPOやボランティアの実態を現地で学ぶ実習 代表教員：倉持裕彌 導入講義・オリエンテーション：8月30日(金) フィールドワーク：NPO法人MCW経営サポートセンター NPO法人十人十色、るりゆる、NPO法人いちばん星、認定NPO法人ハーモニカレッジ 振り返り：9月17日(火) 10:30～12:00 公立鳥取環境大学
青谷高等学校 (だっぴ)	9月12日(木) 受講者：5名	高校生と社会人でグループをつくり、テーマに沿って意見交換を行う。これを通じて仕事や将来の生き方について考える。 代表教員：足立 一枝
境高等学校 (境考学)	9月18日(水) 受講者：15名	センターがおこなっているSDGsの取り組みについての講義 1グループにつき講義と質疑応答20分を3回実施 代表教員：富田 運一

#### (4) 地域経営の視点共有・支援事業

- 地域経営の構成員となる個別の団体の正確な経理を促し、団体自身で健全運営を確認できるよう、初心者でもわかるNPOのための経理処理をシリーズで開催し、このセミナーを、アーカイブ配信できるように整備した。
- 世代交代を考えるNPOの経営者候補者等の研修会を開催し、活動団体の人材育成を支援した。参加者から世代交代に向けて困っていることや、外部に求める支援(例：プロボノの活用など)についてニーズを聞くことができた。
- センターが「地域経営」とは何かの共有認識を持ち支援を行えるようにするため、地域経営について学ぶとともに、学会の研究発表会に参加し、センター内で知識を共有、ノウハウ等の蓄積に努めた。

**・NPOのための初心者向け経理セミナー（30分程度）のシリーズ開催** 目標5回に対し、5回開催

区分	内容	日時	場所	参加人数
第1回	初めての人でもきっとわかる会計 「お金と領収書等の管理」について	2月13日(木) 13:30～14:00	オンライン	24名
第2回	「現金出納帳」を作成してみよう	2月13日(木) 14:10～14:40		25名

第3回	「預金出納帳」を作成してみよう	2月13日(木) 14:50~15:20		23名
第4回	「収支決算書」を作成してみよう	2月17日(月) 13:30~14:00		21名
第5回	助成金の活用及び申請のポイントについて	2月17日(月) 14:10~14:40		19名

- ・NPO人材育成支援研修会及び交流会の開催 目標1回に対し、1回開催

内容	日時	場所	参加人数
次世代のNPO経営者育成支援セミナー「NPOの世代交代について考える」	2月24日(月) 10:00~12:00	オンライン	5名

- ・地域経営を学ぶ研修(職員が共通認識を持つための研修)

内容	日時	場所	参加者
鳥取県東部地区地域づくり研修会 地域課題を乗り越え、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して～集落支援員としての心構え～	12月16日(月) 13:30~15:30	鳥取県東部庁舎	小林・寺坂・椿・池淵・谷
鳥取県福祉研究学会 発表「地域の見える化で支援活動の質を高める」	2月22日(土) 10:00~15:30	鳥取看護大学・鳥取短期大学	小林・寺坂・椿・池淵・谷

#### (5) 地域活動のDX化支援事業

○全国の地域のDX化の動きや先進事例を、NPOや地域づくり団体に紹介するセミナーを開催し、DX化の理解を深める支援を行った。 目標1回に対し、1回開催

内容	日時	場所	参加人数
～負担の少ない地域づくりに向けて～ 無料で使えるICT活用セミナー	9月4日(水) 13:30~16:00	オンライン	20名

#### (6) 情報発信・センター認知度向上事業

○情報誌、機関紙を定期的に発行し、センター事業やNPO等の認知の向上や、活動に役立つ情報等の発信を図った。

- ・NPO活動、ボランティア活動、地域づくり活動に関する情報を発信する情報誌の企画、発行  
情報誌「てとり」 年2回発行 県内外の活動団体、行政、公共施設等400ヶ所  
第21号 10月11日発行  
第22号 3月17日発行
- ・センターが行う講座や研修等の事業の情報を時期に応じて発信する機関紙の企画、発行  
機関紙「センターつうしん」 年4回発行 県内全域のNPO等400ヶ所  
第39号：7月31日発行 第40号：10月3日発行  
第41号：12月16日発行 第42号：3月11日発行

○県民活動に関する情報を、センターのウェブサイト、SNS、県協働参画課「ミラ・クル・とっとり運動サイト」の登録・発信機能等を活用して、広く県民、NPO等へ発信した。

- ・ウェブサイトの更新 月4回以上の目標に対して、月平均4.1回更新
- ・県協働参画課「ミラ・クル・とっとり運動サイト」メール配信機能による情報発信  
年10回の目標に対して21回実施

- メディアへの情報提供、新聞掲載等による広報を行い、センター事業の認知を図った。
  - ・研修講座、寄付金贈呈式等の開催の際に、県協働参画課の協力を得て、プレスリリースを発信
  - ・新聞広告掲載
    - ①10周年記念フォーラムの広告：10月12日（土）掲載
    - ②センター事業の案内広告：1月6日（月）掲載

**(7) センター10周年記念事業**

○センターの設立10周年を記念したフォーラムを開催し、県内の市町村やNPO等にセンターの取組や今後の方向性を周知した。

- ・10周年記念事業等運営委員会（再掲、6ページ参照）
  - 県民の参加を促すため、「10周年記念事業等運営委員会」を設け、様々な立場の委員からの提案、意見を反映し、「センター設立10周年記念フォーラム」を企画した。

- ・センター設立10周年記念フォーラム 目標1回に対し、1回開催

期日	場所	内容
11月4日（月）	とりぎん文化会館	とっとり県民活動活性化センター10周年記念「つながるフォーラム」 ○記念式典 ○講演会「『参加』が創り出す人口減少社会の希望」 講師 山崎 亮（関西学院大学建築学部教授、(株)studio-L代表）

○センターのあゆみや現在の取組を掲載したパンフレットを製作し、配布した。

- ・パンフレットの作成 3,000部 10月発行

**(8) 多様な主体による連携の促進**

○県と連携し、持続可能な地域社会の実現を目指し、SDGsの普及啓発を図った。若者、企業、NPO等、多様な主体の参画を得て、地域の課題解決及び新たな価値創出にむけた意見交換を行った。具体的には、SDGs推進のプラットフォームを広げ、自主事業として解決すべき課題やテーマを設定して、民間主体の新たなプロジェクトチームを醸成し、その実践をけん引、伴走した。

○県内でのSDGsの認知度が高くなったこともあり、普及啓発を目的とした各制度の登録・申請数が伸び悩んだが、交流や意見交換を通して、登録者を含む多様な主体がそれぞれの活動を理解し、新たなつながりをつくることができた。

**①民間主導の参加型でゆるやかな「とっとりSDGsプラットフォーム」の運営 [事務局]**

- ・行動を促す登録の推進 登録目標 100件（個人・団体） 現在123件
- ・SNS、オンラインツール等を活用した情報共有、情報収集・発信
- ・事務局：センター

鳥取県内の市民、NPO、企業、行政、大学・学校など、多様な主体が行うSDGs（持続可能な開発目標）の取組を共有・発信し、分野、組織、セクターを超えた連携・協働による持続可能な地域づくりの推進を目的とする「ゆるやかな参加型のプラットフォーム」

登録団体 123

企業等	NPO等	教育機関	自治体、公的機関	個人	計
22	76	4	5	16	123

**②とっとりSDGsプラットフォーム**

- ・地域課題の解決、持続可能な地域づくり等、SDGsのプロジェクト推進

- ・SDGsに関わる研修会、意見交換会・交流会等の開催  
上記プロジェクト等をテーマにした意見交換会 3回程度

## ア プロジェクト推進

### ○災害支援

平時からの情報交換、災害に関する研修、災害ボランティアセンター運営協力など、学びや実践を通して、平時からの関係性を強化することができた。

とっとりSDGsプラットフォーム災害分科会

ミーティング 5月17日(金)、8月5日(月)、10月2日(水)、12月4日(水)、3月3日(月)

### ○人権基盤型アプローチによる「子ども×文化×地域」をテーマにしたプロジェクト醸成

コアチームミーティング 第1回 9月 5日(木)

第2回 10月21日(月)

第3回 12月15日(日)

第4回 12月18日(水)

第5回 3月 6日(木)

### <協力企画>

(一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット

「NPOのSDGs調査研究・研修開発」推進プロジェクト

・NPOのSDGsヒアリング(県内3団体)9~10月

## イ 意見交換・交流会

- ・「子ども×文化×地域」をテーマとした意見交換をとっとりSDGs意見交換会として開催

- \* (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット「NPOのSDGs調査研究・研修開発推進プロジェクト」、(一社)環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)との連携(相互訪問)

2月2日(日)とっとりSDGs意見交換会

米子コンベンションセンター、オンライン 参加37名

SDGs学びあいミーティング米子「SDGsをかけ算の視点で考え直す」

共催:(一社)SDGs市民社会ネットワーク

とっとりSDGsプラットフォーム(子ども×文化×地域)チーム

基調講演:「分断と孤立化を超えてローカル・コモンズをめざす地域のプラットフォーム形成にむけて」

対話:「子ども×文化×地域」取り組みを<深掘り>する、視点を<広げる>

## ウ SDGsに関する講師参加、研修・会議への参加等

参加形態	期日	場所	派遣者	研修会等
研修参加	5月 8日(水)	とりぎん文化会館	毛利寺坂	鳥取県・公立鳥取環境大学「環大生×企業によるSDGs共創プロジェクトキックオフイベント」
講師	7月 3日(水)	長野県自治会館	毛利	赤い羽根全国ミーティング in 信州分科会「ローカルSDGsと共同募金」
講師	7月16日(火)	鳥取短期大学	毛利	とっとり消費者大学「くらしの経済・法律講座~実践できるSDGs~」
登壇者	10月15日(火)	オンライン	毛利	(株)クレアンセミナー「企業や地域のパートナーシップを考える」
研修参加	10月16日(水)	富山県民会館	毛利	富山県「とやまSDGs連携推進フォーラム」

相互訪問	10月17日(木)	富山県民共生センター	毛利	(一社)環境市民プラットフォームとやま「SDGsセミナー」
研修参加	10月20日(日)	金剛団地中央集会所	毛利	富山県黒部市事例紹介講演+岡島ゼミ I 研究発表「SDGsを深掘りする」
主催者コメント	3月14日(金)	人権ライブラリー(東京都港区)	毛利	(一社)SDGs市民社会ネットワーク「NPOのSDGs全国調査プロジェクト2年次フォーラム」

### ③とっとりSDGsパートナー制度の推進

県と連携し、SDGsに取り組む個人・団体を対象に、SDGsパートナーとして参画を促し、SDGsの認知度向上と取組の「見える化」によるSDGsゴール達成に向けた活動の活性化を図った。

- ・パートナー制度に係る募集・広報、申込受付・登録手続及び登録者の管理・活動状況の把握

目標 100件程度 20件

※「鳥取県令和新時代創生戦略」の令和6年度登録件数目標 500件 登録数610件

- ・SDGsパートナー交流会への協力

県協働参画課が開催の「とっとりSDGsシーズン2024」(9月8日(日)～11月4日(月))の期間中に開催したミラ・クル・とっとりプラットフォーム第3回交流会の連携開催、「ミラ・クル・とっとり元気フェス」の案内

登録団体 610

企業	NPO等	教育機関	個人	計
476	99	11	24	610

### ④「とっとりSDGs伝道師」制度の運営

SDGsの普及啓発の核となる人財として県が選定・任命する「とっとりSDGs伝道師」制度の周知、講習の実施及びSDGs研修会等への派遣(出講)に関する業務を行った。

- ・制度の周知

センターホームページ、FB等での案内、事務所へのチラシ配架、また相談対応時において制度の紹介等を行い、周知を図った。

- ・講習の実施

7月17日(水)オンラインにて開催 参加:伝道師8名、県協働参画課2名、センター2名

- ・派遣(出講)に関する調整、報償費、旅費の支給

申請 11件、実施 11件(うち前年度申請分 1件)、取り下げ 1件

## 3. 社会変化に対応したNPO等活動団体支援事業

### (1) 専門家派遣事業

○NPO等の業務や会計等の専門的な相談に対して、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、中小企業診断士、ICT支援アドバイザー等を登録し、個別又は出前相談会に派遣することで、NPO等の事務能力の向上やガバナンスに関する課題の解決を図った。

○昨年度中途での制度改正(同一団体が年間最大2回活用できる)をチラシ等により年度当初から周知を行ったことにより、個別派遣の活用団体が増加傾向にある。

専門家の派遣 目標20回

NPO基盤強化事業のセミナー、持続可能な地域づくり促進事業のNPO交流会等にあわせて出前相談会を

開催した。

・派遣実績 派遣回数は、13回、22団体

区分	回数	団体数	内容
個別派遣	10回	9団体	ICTアドバイザー×おもちゃDr. 鳥取（鳥取市） 税理士×るりゆーる（鳥取市） 税理士×あいみ富有の里地域振興協議会（南部町） 司法書士×明るい生活（米子市） ファンドレイザー（2回）×子ども食堂ネバーランド（米子市） 行政書士×NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（米子市） 税理士×すぎぼっくり（智頭町） 社会保険労務士×やらいや逢坂（大山町） 税理士×くぶくぶ（湯梨浜町）
センター事業	1回	10団体	ICTアドバイザー×境港NPO交流会（境港市）
出前相談会	2回	3団体	社会保険労務士・税理士×NPO法人ピアサポートつむぎ（倉吉） 社会保険労務士・税理士×まるたんぼう（智頭町） 社会保険労務士×NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会（鳥取市）
合計	13回	22団体	

・専門家の登録

登録専門家	東部	中部	西部	計
税理士	2名	3名	4名	9名
司法書士	2名	—	—	2名
行政書士	8名	3名	6名	17名
社会保険労務士	5名	1名	2名	8名
中小企業診断士	1名	1名	5名	7名
ICTアドバイザー	7名	1名	1名	9名
ファンドレイザー	1名	—	1名	2名
計（延べ人数）	26名	9名	19名	54名
実人数合計	20名	8名	18名	46名

## （2）NPO経営実態把握事業

- 県のホームページに掲載されている公開情報、アンケート、訪問又は電話による聞き取りにより、NPO法人の経営実態を調査し、相談対応及び伴走支援等の基礎資料となる「NPO経営実態資料」（収支構造や雇用等経営状況、会計事務等の運営状況及び情報収集・発信等の活動状況並びにそれらの課題をとりまとめた資料）を更新、整備した。
- 鳥取大学長曾我部准教授の助言を反映してアンケートの手法を見直したことでアンケートの回収率を上げることができた。
- NPO法人の公開情報を鳥取環境大学下境准教授に調査・分析していただくことで、新たな視点での分析結果を得ることができた。

### ア アンケート調査

鳥取大学工学部公共システム研究室と共同で、長曾我部准教授（理事）の監修のもと「鳥取県内のNPO法人の現状と課題に関するアンケート調査」を実施

- ・実施期間及び回収数：8月21日（水）～9月6日（金） 回収数計99団体／送付数285団体

#### イ 訪問又は電話による聞き取り

- ・更新データ件数（経営実態資料）及び聞き取り（訪問又は電話による聞き取り調査）の目標数20NPO法人  
実績：21NPO法人（東部8、中部5、西部8）

##### <聞き取り先>

地域	聞き取り先団体	
東部	8	NPO法人あゆみ（鳥取市）、NPO法人 We garden our city!（八頭町）、NPO法人因幡万笑の会（鳥取市）、NPO法人居場所研究室（鳥取市）、NPO法人十人十色（鳥取市）、NPO法人桜キッズフィールド（鳥取市）、NPO法人地域スポーツ推進協会（鳥取市）、NPO法人おじぎそう（鳥取市）
中部	5	NPO法人THKサポート（北栄町）、NPO法人倉北ユナイテッド（倉吉市）、NPO法人遊山のもり（倉吉市）、NPO法人四つ葉（倉吉市）、NPO法人里山地域研究会（三朝町）
西部	8	NPO法人日本スマートバブル研究会（米子市）、NPO法人鳥取県障がい者就労事業振興センター（米子市）、NPO法人本の学校（米子市）、NPO法人フォレストアカデミージャパン（日南町）、NPO法人むきばんだ応援団（米子市）、NPO法人DARAZスピリット（米子市）、NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（米子市）、NPO法人YSSだいせん（大山町）

#### ウ NPO経営実態資料の作成

- ・NPO法人の活動計算書等、県ホームページ掲載の公開情報を分析した結果を、鳥取環境大学経営学部の下境芳典准教授及び同研究室の学生と共同で取りまとめ、調査報告書として作成、公開した。
- ・上記結果をNPO法人毎にファイリングした資料を作成した。

### (3) 非営利組織基盤強化・評価推進事業

- 組織診断・評価や組織基盤強化支援を行うことにより、NPO等の組織力強化、ガバナンスの向上を図るとともに、積極的な情報開示・情報発信を促した。

#### ア 非営利組織評価推進事業

- ・（公財）日本非営利組織評価センター（JCNE）との連携  
（公財）日本非営利組織評価センター「グッドガバナンス認証」評価  
制度見直しのため、今年度の評価はなし。  
新制度及び現行制度終了についての評価員向け説明会 2月26日（水） オンライン参加：寺坂  
グッドガバナンス：NPO法人MCW経営サポートセンター（鳥取市） 12月18日認証取得  
ベーシックガバナンス：NPO法人ピアサポートつむぎ（倉吉市） 2月26日評価掲載

#### イ 休眠預金（2021年度通常枠、2022年度通常枠）採択団体に対する組織評価及び伴走支援

- ・持続可能な組織基盤強化を目的に実施する休眠預金等活用事業」の採択団体に対して、規程類の作成、社会的インパクト評価をはじめとする「組織診断」等の評価活動の支援を行った。

#### ウ 情報開示・情報発信支援

- ・県協働参画課「ミラ・クル・とっとり県民運動サイト」、日本財団CANPAN等のポータルサイト、「とっとりSDGsプラットフォーム」等を活用して、情報開示・発信支援を行った。

### (4) NPO基盤強化事業

- NPO法人が、会計・税務・労務・登記・所轄庁事務・定款に基づく組織運営等、基本的な事務力を獲得するとともに、ガバナンスの構築により、その自立性、透明性、信頼性の向上を図るため、地域づくり活動、NPO活動におけるノウハウの提供など、団体のニーズや状況を踏まえ基盤強化に必要な講座等を企画し、開催し

た。

○所轄庁、税務署、県税、市町村役場、年金事務所、労働基準監督署、公共職業安定所に関するNPO法人の年間スケジュールを用いて税理士や社会保険労務士等の専門家等が説明を行うことで、NPO法人が行わなければならない基本的な実務について理解していただくことができた。また、実際に実務を行っている講師に実例をもとに話をしてもらうことで、より実践的な講座となった。

**ア NPOのための事務力セミナー** 目標1回に対し、1回開催

内容	日時	場所	参加人数
NPOの年間業務を確認しよう NPOの事務のコツ 個別相談会	10月18日(金) 13:30~16:30	上井コミュニティセンター (倉吉市)	10名

**イ NPO法人事務説明会**

NPO法改正があった場合等に、東・中・西部振興課とともに開催する。 今年度開催なし。

**(5) 社会人・若者ボランティア（プロボノ）推進事業**

- 支援を希望する県内のNPO等と、自らのスキルや経験を活かして社会貢献活動を行いたい社会人・若者をマッチングし、プロジェクトを実施した。
- 鳥取大学地域学部と連携し、大学生のスキルを活かして団体の情報発信を支援する「ミニプロボノ」を実施した。
- とっとりプロボノにおいては、県外から参加したプロボノワーカーと県内のプロボノワーカーがITツール等を用いて円滑にコミュニケーションを図りプロジェクトをすすめることができた。
- 大学生によるミニプロボノは3年目となり、鳥取大学菰田講師と何度も話し合い、細かい点を改善していくことで継続することができている。今年度より学生の団体訪問を必須としたことで、団体にとっても学生にとっても満足度の高いプロジェクトとなった。

**ア プロボノ説明会** 目標2回に対し、2回開催

プロボノ支援を受けたいNPO等及びプロボノワーカー希望者向けの説明会を実施した。

- ・受入団体の募集 6月3日(月)~7月1日(月)  
受入団体の再募集 8月9日(金)~9月2日(月)  
審査会 9月20日(金)  
申請1(西部1) 採択1団体(西部1)
- ・説明会 オンライン 6月20日(火) 参加2団体  
説明会(再募集) オンライン 8月21日(水) 参加3団体  
プロボノワーカー 県内登録者67名、新規登録者3名

**イ プロボノ育成研修** 目標1回に対し、1回開催

内容	日時	場所	参加人数
ボランティアマネジメントの基本	1月19日(日) 19:00~20:15	オンライン	10名

**ウ プロボノ事業の実施**

県内外の社会人・若者が自らのスキルを活かして県内のNPO等を支援する、ボランティア（プロボノ）プロジェクトを実施した。

- ・プロジェクト(11~2月) 目標1件に対し、1件実施

区 分	活 動 日 等
採択団体	労働者協同組合かけはし（米子市）
支援内容	事業戦略支援（ボランティア受入体制構築のための課題の整理）
ワーカー	4名
キックオフ事前ミーティング	11月19日（火）オンライン 参加者：ワーカー4名
キックオフミーティング	11月21日（木）オンライン 参加者：ワーカー4名、団体3名
チームミーティング	11月26日（火）～2月9日（日）7日
ヒアリング	12月22日（日）
最終提案	2月11日（火）場所：米子コンベンションセンター、参加者：ワーカー4名、団体3名
成果報告会	3月11日（火）パープルタウンレンタルスペース people

・大学生によるミニプロボノ 目標1件に対し、1件実施

鳥取大学コミュニティ創造支援論と連携して、学生がプロボノを体験する機会を提供した。

区 分	実 施 日 等
受入団体募集	4月3日（水）～4月22日（月）
学生による受入団体選定	4月27日（木）～5月1日（月）
研修（講義）	5月2日（木）
ヒアリング（第1回）	5月16日（木）
ヒアリング（第2回）	5月30日（木）、6月4日（火）、6月6日（木）、6月10日（月）
最終成果物提出	8月28日（月）
ヒアリング受け入れ先	岩美町社会福祉協議会、美萩野あじさい公園愛護会、るりゆーる、NPO法人 十人十色
成果報告会	8月1日（木）鳥取大学

エ. プロボノ報告会

期日及び場所	内 容
3月11日（火） パープルタウンレンタルスペース people	活動報告：プロボノワーカー、労働者協同組合かけはし、鳥取大学 参加者：13名

(6) 助成金活用促進・資金調達支援事業

○県内外の助成金情報を紹介し、効果的な活用を促す「助成金合同説明会」を開催するとともに、センターが募集する補助金の周知を行った。

ア 助成金合同説明会 目標1回に対し、4回実施

県内外の助成団体の説明及び助成金活用ミニ講座ののち、個別相談会を実施し、申請及び採択団体の拡大を図った。

開催方法	内容	日時	場所	参加団体数
集合	助成金合同説明会&相談会 助成金ミニ講座	7月26日（金） 13:30～16:45	県民ふれあい会館	16団体 17名

- ・助成団体の説明：日本郵便年賀寄付金分配事業、株式会社鳥取銀行とりぎん青い鳥基金、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社あいおいニッセイ同和損保助成プログラム、中国労働金庫北部エリア営業本部鳥取事務所中国ろうきんNPO寄付システム、鳥取県共同募金会赤い羽根共同募金、鳥取県協働参画課ギフ鳥

県の「地域づくり関係助成事業説明会・相談会」と同時開催

区分	内容	日時	場所	参加団体数
東部	民間等の助成事業説明&活用セミナー 鳥取県による助成事業紹介、相談会	2月26日(水) 13:30~15:30	県庁講堂	16団体 24名
中部		2月27日(木) 10:00~11:30	倉吉体育文化会館	7団体 12名
西部		2月25日(火) 10:30~12:00	西部総合事務所	5団体 7名

## イ 補助金の周知

「助成金合同説明会&相談会」をはじめとして、約450か所の法人、団体へ、郵送及びメーリングリストで周知を行った。

## ウ 資金調達支援

資金調達の計画づくりや、寄付や助成金、補助金の獲得、持続可能な地域づくり団体支援寄付金「ギフ鳥」やクラウドファンディングの活用等に関するアドバイス等を行った。

- ・寄付についての相談に対し助言した。(5件)
- ・助成金・補助金申請の相談に対し助言した。(8件)
- ・クラウドファンディングの相談に対し概要と活用について説明した。(1件)
- ・その他の資金調達の相談に対し助言した。(4件)

## (7) 民間協働型活動支援事業【自主事業】

○企業及び県内外の支援団体と連携し、資金、物品、ノウハウ等の支援プログラムを実施し、寄付文化醸成のイベント等を「全国寄付月間(12月)」やSDGs推進の取組と連携して開催した。

### ①寄付文化の醸成及び寄付活動の活性化にむけた活動

- ・寄付の教室等「社会貢献教育」や参加型の「寄付プロジェクト」の検討・普及  
お買い物チャリティー等で「全国寄付月間2024」に参加  
寄付月間2024のアンバサダー賞を受賞  
ファンドレイジングスクール参加、認定ファンドレイザー資格取得 池淵
- ・寄付つき商品事業  
○寄付つき商品に新たにとりくみたい企業等と活動団体とをマッチングし、開発支援・広報を実施した。  
マッチング件数：21件 実施件数：21件 寄付先団体：13団体 寄付金額：352,310円  
○寄付つき商品の存在を知っていた企業が、新たな商品を通年の寄付つき商品として取り組むこととした。

### ア 寄付つき商品 通年実施分 実施数3件(うち継続2件) 寄付先団体2団体

企業名	所在地	商品名	寄付内容	寄付先団体
寿製菓(株)(平成29年度~)	米子市	スタミナ納豆の素	購入 1袋につき10円	こども食堂とみんなの居場所ほっとここ
和食処やじきた(令和5年度~)	米子市	お子さまメニュー	売上の5%	子どもの居場所ネットワーク“えんたく”
とっとりずむ	鳥取市	とっとりかるた	売上の5%	子どもの居場所ネットワーク“えんたく”

### イ とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン

国連総会で子どもの権利条約が1989年11月20日(世界子どもの日)に採択されて30年目に

あたる令和元年度からスタートした「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」。

12月の寄付月間を含む11月20日(水)～12月31日(火)をキャンペーン期間とし、子ども子育て支援団体を寄付先対象として「お買い物チャリティー」及び「カンパイチャリティー」を実施。  
 <キャンペーン参加企業・店舗> 実施数21件(うち継続18件) 寄付先団体13団体

企業名(チラシ掲載名)	所在地	商品名	寄付内容	寄付先団体	寄付金額
寿製菓株式会社	米子市	【通年】スタミナ納豆の素	1袋につき10円を寄付	ほっとここ	211,260円
和食処やじきた	米子市	【通年】お子様メニュー	売上の3%を寄付	子どもの居場所ネットワーク“えんたく”	13,043円
株式会社とっとりずむ	鳥取市	【通年】とっとりかるた	1個につき100円を寄付	子どもの居場所ネットワーク“えんたく”	10,500円
株式会社Webもり	鳥取市	tory(トリー)のInstagramとX	キャンペーン期間中に投稿したポストのいいね数の合計値を寄付(1いいねで1円)	NPO法人希望の星	10,000円
薬膳食堂犬狹	倉吉市	陰陽薬膳ランチ	ランチ(1,300円)につき50円を寄付	チャイルドラインうさぎのみみ	3,250円
有限会社鶴乃髯	倉吉市	打吹もなか・はーこさんもなかセット	1セットにつき30円を寄付	子どもの居場所ネットワーク“えんたく”	330円
てぬぐい工房らっぷ	倉吉市	てぬぐい(1,000円以上)	1枚につき50円を寄付	自然がっこう旅をする木	2,500円
コスメティックリアン	倉吉市	15分クイックエステ	2,200円のうち一部を寄付	ゆりはま子育てネットワークくぶくぶ	2,000円
りんご舎	倉吉市	足つぼ、ベビーケアなど全メニュー	売上の5%を寄付	自然がっこう旅をする木	7,500円
梅津酒造	北栄町	酒粕	1つにつき10円を寄付	NPO法人ピアサポートつむぎ	5,000円
皆生松月	米子市	松月うさぎもなか	1,100円(税込)の売上の3%を寄付	チャイルドラインうさぎのみみ	2,640円
皆生游月	米子市	游月甘	1,250円(税込)の売上の3%を寄付	こどもの人権広場	5,737円
お肉のなべさん	米子市	鳥取県産大山豚肩・モモ切り落とし	売上の5%を寄付	NPO法人西部ろうあ仲間サロン会	21,000円

美酒佳肴ゆらく	米子市	日本酒	1杯につき10円を寄付	NPO法人保育サポートークローバーキッズ	16,150円
ワインセラー葡萄屋	米子市	ワイン試飲会	ワイン試飲会の参加者から募った寄付金を寄付	JAPAN PARAMARINE ASSOCIATION	2,000円
ドゥヘアドレッサーズ	米子市	ヘアトリートメント	1回につき50円を寄付	JAPAN PARAMARINE ASSOCIATION	0円
arome beauty therapisia	米子市	リラクソドライアロマヘッドセラピー	10分2,200円につき500円を寄付	JAPAN PARAMARINE ASSOCIATION	4,000円
Café' マルマス	境港市	期間中の全商品	売上の1%を寄付	境港親と子どもの劇場	3,000円
木のおもちゃとわらべうたここあん	境港市	木製玩具、ボードゲームなど、	店頭での販売物の販売価格の5%を寄付	境港親と子どもの劇場	24,000円
Matsu-Sou	境港市	衣類	対象商品の売上の1%を寄付	NPO法人子ども未来ネットワーク	3,000円
豆ひとつぶ	境港市	鳥取県産の食品	対象商品の売上の3%を寄付	NPO法人子ども未来ネットワーク	5,400円

※キャンペーンウェブサイトの活用、チラシ、ポスター、店舗用ポップ等を作成配布  
マスコミへの資料提供

## ②とっとりイーパーツリユースPC寄贈プログラム

・NPO等を対象として企業等が行う寄贈プログラムと連携・協力して、受贈団体とのマッチングを行った。

・「第11回とっとりイーパーツリユースPC寄贈プログラム」(リサイクルパソコン等の寄贈)

認定NPO法人イーパーツ(東京)との協働事業

- ・募集期間 7月1日(月)～8月26日(月)
- ・審査会 9月12日(木) 鳥取市民交流センター
- ・申請 2団体(ノートPC5台、複合機2台)
- ・採択 1団体(ノートPC5台、複合機1台)
- ・寄贈式 9月27日(金)
- ・寄贈品 ノートPC5台、複合機1台
- ・寄贈団体 一般社団法人みもぎの会

## ③ごうぎんSDGs私募債(地域おこし型・NPO)寄贈事業

山陰合同銀行及び私募債発行企業との協働事業 私募債発行時に発行金額の0.2%を寄贈

- ・私募債発行企業の希望を尊重しながら、センター登録団体とのマッチングを行う事業。  
今年度なし

## ④中国ろうきんNPO寄付システム

中国5県でNPO支援に取り組む5つの中間支援組織と中国労働金庫の協働事業

中国労働金庫の普通預金口座を通じて、福祉や環境などNPO法上の20の活動分野毎に入金された県内

の寄付金（1ヶ月1口100円）を、NPO法人に配分した。

- ・助成額 5万円/件 ・助成対象 NPO法人
- ・募集時期 12月2日（月）～1月17日（金） ・審査会 2月3日（月）センター事務所
- ・寄付金贈呈式 3月5日（水）パープルタウン2階 レンタルスペースpeople 参加5団体5名
- ・申請5団体 採択5団体 助成額5万円×2団体、6万円×3団体、計28万円
- ・非営利組織評価を受けている団体へは、1万円を追加配分(\*)

区分	分野	採択団体	所在地
東部	保健・医療・福祉	NPO法人MCW経営サポートセンター(*)	鳥取市
	保健・医療・福祉	NPO法人鳥取ダルク	岩美町
中部	子どもの健全育成	NPO法人ピアサポートつむぎ(*)	倉吉市
西部	文化・スポーツ	NPO法人米子ローイング協会(*)	米子市
	子どもの健全育成	NPO法人いるか	米子市

### ⑤あいおいニッセイ同和損保助成プログラム

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社鳥取支店との協働事業

同社の役職員による寄付金（任意の募金制度「MS&ADゆにぞんスマイルクラブ」）と会社からの同額寄付を加えた鳥取県独自の助成プログラムとして実施し、県内のNPO等に助成した。

- ・助成上限額 5万円/件 ・助成対象 NPO等
- ・募集時期 12月18日（月）～2月2日（金） ・審査会 2月20日（火）センター事務所
- ・寄付金贈呈式 3月11日（火）10:30～11:30 鳥取市民交流センター 参加3団体3名
- ・申請16団体 採択3団体 助成額5万円×3団体=15万円

区分	採択団体	所在地
東部	るりゆーる	鳥取市
	鳥取市ろうあ協会	鳥取市
	鳥取おやこ劇場	鳥取市

### ⑥とりぎん青い鳥基金

鳥取銀行との協働事業として、SDGs（教育活動、まちづくり活動）に関わる活動を支援した。

<上期>

- ・募集期間 4月1日（月）～7月31日（水） ・審査会 9月18日（水）鳥取銀行本店
- ・申請20団体 採択4団体 助成総額 1,000,000円
- ・寄付金贈呈式 採択団体事務所等において実施予定

区分	テーマ	採択団体	所在地	寄贈式
東部	まちづくり	やわらかい風	鳥取市	10月25日（金）鳥取市
中部	まちづくり	朗読バラエティ花みずき	倉吉市	10月30日（水）倉吉市
西部	教育	合同会社TENG	大山町	11月20日（水）大山町
	まちづくり	NPO法人西部ろうあ仲間サロン会	米子市	11月29日（金）米子市

<下期>

- ・募集期間 10月1日（火）～1月31日（金） ・審査会 3月10日（月）鳥取銀行本店
- ・申請13団体 採択4団体 助成総額 1,000,000円
- ・寄付金贈呈式 採択団体事務所において随時実施

区分	テーマ	採択団体	所在地	寄贈式
東部	教育	TottoRE: Makers	鳥取市	5月9日（金）鳥取市
	まちづくり	SEEK	岩美町	5月9日（金）岩美町
中部	まちづくり	「椿の森」を後世に伝える会	琴浦町	5月1日（木）琴浦町
西部	教育	非営利活動団体きやらぼく	米子市	5月1日（木）米子市

⑦「47コロナ基金とつとりつながるプロジェクト」

地域創造基金さなぶり（宮城県）が、2021年2月から2022年3月まで実施した「47都道府県『新型コロナウイルス対策』地元基金」を活用した寄付金をもとに助成した団体の進捗管理及び伴走支援を行った。

交付団体	NPO法人YSSだいせん
所在地	大山町
事業実施期間	令和6年1月1日（月）～6月30日（日）
事業概要	ひきこもり・不登校等の方たちへの就労ステップ支援事業
交付決定額	182,000円
交付確定額	182,000円

⑧明治ホールディングス株式会社株主優待(子どものたちへのお菓子の寄贈)

認定NPO法人日本NPOセンターの呼びかけに応え、県内の支援団体等と協議を行い、推薦団体を決定し、寄贈者で構成する委員会等で寄贈先団体決定後、送られてきたお菓子を寄贈先団体に届けた。

寄贈団体数：14団体（1団体あたり市価4～5万円程度のお菓子を贈呈） 12月実施

寄贈対象：「障がいのある子ども」「自然災害の被災地」「自然災害の広域避難者」「東日本大震災で広域避難した子ども達」を対象に活動・支援を行う団体

区分	対象テーマ	採択団体	所在地
東部	障がいのある子ども	NPO法人つぼみ畑	鳥取市
	障がいのある子ども	NPO法人いちばん星	鳥取市
	障がいのある子ども	NPO法人たんぼぼ	八頭町
	障がいのある子ども	NPO法人因幡万笑の会	鳥取市
	東日本大震災で広域避難した子ども	とっとり震災支援連絡協議会	鳥取市
中部	障がいのある子ども	NPO法人ピアサポートつむぎ	倉吉市
	障がいのある子ども	NPO法人糸	倉吉市
	障がいのある子ども	NPO法人子ども未来ネットワーク	倉吉市
西部	障がいのある子ども	NPO法人おやこサポート小窓	米子市
	障がいのある子ども	NPO法人希望の星	米子市
	障がいのある子ども	NPO法人山陰福祉の会	米子市
	障がいのある子ども	一般社団法人みもぎの会	米子市
	障がいのある子ども	NPO法人陽なた	境港市
	障がいのある子ども	子どもサポートふたば	南部町

⑨中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業 [代表・事務局：NPO法人ひろしまNPOセンター]

休眠預金等を活用し、中国5県の中間支援組織が連携して「資金分配団体」を担うとともに、県内においてSDGsの理念に基づく中国地方全体に共通する課題の解決にむけた助成及び伴走支援等の取組を行った。

ア 2021年度通常枠（草の根活動支援事業）「中国5県休眠預金等活用事業2021」

・採択1団体 実施1団体

鳥取県の助成金総額：20,000,000円（令和4～6年度）

区分	テーマ	申請団体	所在地
東部	安心・安全に暮らせるコミュニティづくりの支援	鳥取藝住実行委員会「鳥取クリエイティブプラットフォーム構築事業」	鳥取市

イ 2022年度通常枠（災害支援事業）「中国5県休眠預金等活用事業2022」

・採択2団体 実施2団体

鳥取県の助成金総額：30,914,260円予定（令和5～7年度）

区分	テーマ	申請団体	所在地
東部	中国5県における発災時の相互支援体制構に向けた地域の支援団体育成・強化	とっとり震災支援連絡協議会「鳥取県における災害支援団体連携強化及び拠点（鳥取県東部）整備事業」	鳥取市
		認定NPO法人人と動物の共生センター「中国5県におけるペットと飼い主の避難を実現する、動物避難所整備事業」	智頭町

#### (8) 控除対象特定非営利活動法人指定支援補助金交付事業

○鳥取県のNPO法人の条例個別指定制度に基づき指定を受けようとするNPO法人が、司法書士等に相談する際の経費に対して補助金を交付する事業。

- ・補助額上限 15万円/件 NPO法人 2件程度 補助率10/10 実績：申請0
- ・募集期間 4月1日（月）～令和7年2月28日（金）
- ・県内NPO等（400ヶ所以上）へ周知
- ・個別説明 1件
- ・指定申請の可能性のあるNPO法人への呼びかけを行い、「認定法人」をめざす1NPO法人へ個別の説明を行ったが、条例個別指定制度を活用するNPO法人はなかった。

#### (9) 地域づくり活動改善支援補助金交付事業

○地域の課題解決に向けて活動を改善・向上させようとする地域づくり団体等の活動を支援した。

- ・補助額上限 30万円/団体 5件程度 補助率10/10 実績：申請3件 採択3件

団体名	交付確定額	所在地
NPO法人西部ろうあ仲間サロン会	294,000円	米子市
NPO法人本の学校	211,000円	米子市
コトウラ3区	299,000円	琴浦町

### ※以上の事業とともに実施するセンターの取組

#### ○事務所スペースの活用の促進 [事務所スペース貸与]

- ・ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動等県民活動の拠点として、倉吉の事務所スペースの活用を進めた。
- ・利用実績 1件

#### ○講師活動、各種委員会・審査会等への職員の派遣

- ・センター職員が行う講師活動について、全体業務とのバランスを考慮しながら、その向上を図り、推進した。
- ・団体の役員、各種委員会や審査会の委員について、全体業務のバランスを考慮しながら、必要に応じて就任し、その役割を果たすとともに就任する団体等との信頼関係を築いた。

#### ア 講師等としての派遣（SDGs推進事業等、すでに記載されているものを除く）

○全体業務とのバランスを考慮しながら、講師活動の向上を図り、推進した。

日時	場所	参加者	研修会等
5月26日（日）	琴浦町 安田地区公民館	椿	琴浦町安田地区公民館総会&地域づくり研修会 「人生が豊かになる安田の地域づくり」

9月21日(土)	北栄町図書館	寺坂	ほくえい未来トーク2024
10月6日(日)	とりぎん文化会館	谷	多言語国際交流サポートTIA20周年記念
11月20日(水)	公立鳥取環境大学	毛利	倉持裕彌准教授授業「コミュニティビジネス論」
1月20日(月)	公立鳥取環境大学	毛利	とっとり消費者大学「くらしの経済・法律講座～NPOの活動について～」

## イ 委員会・審査会への派遣

○全体業務のバランスを考慮しながら、必要に応じて就任し、その役割を果たすとともに派遣先団体等と信頼関係を築くように努めた。

### 県内外の委員会、審査会等の委員、審査員の就任

派遣数35（理事長及び職員5名）内訳：団体の役員等5 審議会等の委員27 審査会の委員3

- ・鳥取県生活協同組合 有識理事（毛利理事長）
- ・中国5県中間支援組織連絡協議会 代表（毛利理事長）
- ・地域づくり団体全国協議会 副会長（毛利理事長）
- ・（一社）SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット  
「NPOのSDGs調査研究・研修開発推進プロジェクト」委員会 委員長（毛利理事長）
- ・ひろしまNPOセンター「中国5県休眠預金等コンソーシアム運営委員会」運営委員（毛利理事長）
- ・こくみん共済「こくみん共済coop地域貢献助成事業中国四国審査委員会」委員（毛利理事長）
- ・県ねんりんピック課「ねんりんピックはばたけ鳥取2024実行委員会」委員（毛利理事長）
- ・県ねんりんピック課「ねんりんピックはばたけ鳥取2024実行委員会常任委員会」常任委員（毛利理事長）
- ・県商工政策課「とっとりSDGs企業認証審査会」委員（毛利理事長）
- ・とっとり研志塾実行委員会 委員（毛利理事長）
- ・鳥取県社会福祉協議会 理事（小林事務局長）
- ・県協働参画課「ミラ・クル・とっとり運動推進委員会」委員（小林事務局長）
- ・県ねんりんピック課「ねんりんピックはばたけ鳥取2024実行委員会総務・企画専門委員会」委員（小林事務局長）
- ・鳥取市災害ボランティアセンター連絡会構成員（小林事務局長）
- ・公益社団法人とっとり被害者支援センター監事（小林事務局長）
- ・日本NPOセンター組織基盤強化サポート研修チューター（寺坂次長）
- ・とっとり子どもの居場所ネットワークえんたく 理事（法人）及び運営委員会委員（寺坂次長）
- ・全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会 世話役人（寺坂次長）
- ・中国環境パートナーシップオフィス・中国地方ESD活動支援センター運営委員会委員（寺坂次長）
- ・鳥取市社会福祉協議会 理事（寺坂次長）
- ・鳥取市社会福祉協議会地域福祉推進委員会 委員（寺坂次長）
- ・鳥取市社会福祉協議会鳥取市ボランティア・市民活動センター「鳥取市ボランティア・市民活動センター運営委員会」委員（寺坂次長）
- ・鳥取市社会福祉協議会鳥取市ボランティア・市民活動センター「鳥取市市民まちづくり提案事業助成金審査会」委員（寺坂次長）
- ・県産業未来創造課「地域課題解決型起業支援補助金審査会」委員（寺坂次長）
- ・倉吉市企画課「倉吉市総合戦略推進会議」委員（寺坂次長）
- ・（公財）日本非営利組織評価センター「グッドガバナンス認証」評価員（寺坂次長）
- ・県農地・水保全課「みんなで取り組む推進会議」委員（椿企画員）
- ・鳥取県立生涯学習センター（ふれあい会館）「とっとり県民カレッジ講座運営協議会」委員（椿企画員）
- ・「倉吉総合産業高等学校運営協議会」委員（椿企画員）
- ・鳥取市協働推進課「鳥取市市民自治推進委員会」委員（椿企画員）
- ・湯梨浜町デジタル・みらい戦略課「ゆりはま創生総合戦略会議」委員（椿企画員）

- ・鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）実行委員会（池淵企画員）
- ・鳥取県社会福祉協議会「鳥取県ボランティア・市民活動センター運営委員会」運営委員（谷書記）
- ・鳥取市佐治町総合支所「佐治町生活交通会議」オブザーバー（谷書記）
- ・令和6年度シン・子育て王国とっとり表彰審査委員（谷書記）

#### ○全国・中国地方及び中国地方の中間支援組織等との連携、会議等への参加 [ネットワーク構築]

- ・中国5県中間支援組織連絡協議会及び中国5県休眠預金等活用コンソーシアムの構成団体、(一財)地域活性化センター(地域づくり団体全国協議会)の鳥取県の事務局として、また、認定NPO法人日本NPOセンター、NPO法人会計基準協議会、全国NPO事務支援カンファレンス、(公財)日本非営利組織評価センター、(一社)SDGs市民社会ネットワーク、同ネットワーク地域ユニット、災害時におけるNPO支援センター等の活動相互支援協定等、全国及び中国地方の中間支援組織と連携して、人材育成、調査・提言活動、資金調達・提供、SDGs、災害時支援等の連携・協働の取組を進めるとともに、会議や研修等への参加を通して、全国及び中国地方の支援機関・組織との関係構築を図った。
- ・とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく”の理事団体及び賛助会員として参加し、県内における子ども食堂等、子どもの居場所づくりへの企業の寄付・寄贈、マッチング等の支援を行った。
- ・「とっとりSDGsプラットフォーム」等を基盤に、災害時のNPO等のネットワーク化を進め、「災害時相互協力協定」を結ぶ団体等で構成する「災害ボランティア活動関係機関連絡会」\*3に参加した。

\*3 「災害ボランティア活動関係機関連絡会」…平成30年12月に締結した「災害時相互協力協定」を結ぶ団体等で構成。鳥取県社会福祉協議会が主催し、年に2～3回、連絡会議を開催している。

<構成団体> (公社)日本青年会議所中国地区鳥取ブロック協議会、日野ボランティア・ネットワーク、鳥取県生活協同組合、鳥取県社会福祉協議会、鳥取県、センター(以上、「災害時相互協力協定」締結団体)、日本赤十字社鳥取県支部(連絡会スタート時から参加)、ライオンズクラブ国際協会336-B地区(令和2年度から参加)

#### 会議等への参加 44回

日時	場所	参加者	会議・役割
4月 8日(月)	オンライン	寺坂	NPO支援力応援プログラムチューター会議①・チューター(企画・運営メンバー)
4月11日(木)	オンライン	毛利	(一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議
4月19日(金)	オンライン	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
4月22日(月)	オンライン	寺坂	NPO支援力応援プログラムチューター会議②・チューター(企画・運営メンバー)
5月 9日(木)	オンライン	毛利	(一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議
5月20日(月)	鳥取市	寺坂	とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく”役員会
5月30日(木)	東京都中央区	毛利	地域づくり都道府県協議会会長及び都道府県地域づくり団体担当課長会議及び意見交換会
5月31日(金)	オンライン	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
6月 3日(月)	オンライン	寺坂	NPO支援力応援プログラムチューター会議③・チューター(企画・運営メンバー)
6月 6日(木)	広島県	寺坂	中国環境パートナーシップオフィス・中国地方ESD活動支援センター運営委員会
6月13日(木)	オンライン	毛利	(一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議
6月21日(金)	オンライン	小林	日本NPOセンター2024年度通常総会
6月24日(月)	オンライン	毛利・寺坂	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会
6月26日(水)	オンライン	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス総会
6月28日(金)	オンライン	寺坂	NPO法人会計基準協議会総会・学習会
7月 3日(水)	鳥取市	小林・谷	災害ボランティア活動関係機関連絡会
7月11日(木)	オンライン	毛利	(一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議

8月 8日 (木)	オンライン	毛利	(一社) SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニット会議
8月21日 (水)	オンライン	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
8月21日 (水)	オンライン	毛利・寺坂	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会
8月28日 (水) ～29日 (木)	東京都	寺坂	民間NPO支援センター・将来を展望する会 (CEO会議)
9月12日 (木)	オンライン	毛利	(一社) SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニットオープンDay
10月 2日 (水)	オンライン	毛利	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会
10月11日 (金)	オンライン	寺坂	NPO支援力応援プログラム振り返り会 (運営メンバー)
11月13日 (水)	オンライン	寺坂	NPO法人会計サポートに関する情報交換会・NPO法人所轄庁との意見交換会 (中国・四国ブロック会議)
11月14日 (木)	オンライン	毛利	(一社) SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニット会議
11月15日 (金)	オンライン	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
12月12日 (木)	オンライン	毛利	(一社) SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニット会議
1月 9日 (木)	オンライン	毛利	(一社) SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニット会議
1月10日 (金)	広島県 オンライン	毛利 寺坂	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会及び中国5県NPO中間支援組織連絡会議
1月28日 (火)	オンライン	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
1月28日 (火)	鳥取市	小林	鳥取市災害ボランティアセンター連絡会
1月29日 (水)	鳥取市	寺坂	鳥取県「令和の改新」県民会議
2月 7日 (金)	オンライン	毛利・中山	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会
2月13日 (木)	オンライン	毛利	(一社) SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニット会議
2月20日 (木)	広島県	寺坂	中国環境パートナーシップオフィス・中国地方ESD活動支援センター第2回運営委員会
2月25日 (火)	オンライン	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
2月26日 (水)	オンライン	寺坂	新制度及び現行制度終了についての評価員向け説明会
3月10日 (月)	鳥取市	小林・谷	災害ボランティア活動関係機関連絡会
3月10日 (月)	鳥取市	毛利	鳥取県協同組合連絡協議会「2025国際協同組合年キックオフレセプション」
3月13日 (木)	オンライン	毛利	(一社) SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニット会議
3月14日 (金)	東京都 オンライン	毛利 池淵・谷	(一社) SDG s 市民社会ネットワーク「NPOのSDG s 全国調査プロジェクト2年次フォーラム」
3月14日 (金)	オンライン	小林	災害対策基本法改正案の内閣府の説明会
3月19日 (水)	オンライン	毛利	中国5県NPO中間支援組織連絡会議

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年5月

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター